

令和5年度 青森県県土整備部優良工事表彰

県土整備部長表彰

工事の概要

工事名	三沢十和田線 交通安全施設整備工事		
受注者名	田中建設株式会社		
工事場所	十和田市一本木沢地内	請負金額	82,401,000円
工期	令和4年4月1日～令和4年10月27日	成績評定点	87点
完成年月日	令和4年10月27日	推薦公所	上北地域県民局地域整備部
主任（監理）技術者	内海 篤樹	総括監督員	鈴木 孝
工事内容	アスファルト舗装工2,350㎡、 側溝工395m、縁石工262m	主任監督員	堀内 俊雄
		監督員	一山 智弘

推薦理由

本工事は、十和田市における三沢十和田線の歩道及び自転車通行帯整備事業であり、東小・中学校、十和田工業高校の通学路に指定された区間（通学路交通安全プログラムも策定）の交通安全対策事業である。当該区間は、三沢市～十和田市間の物流・観光事業における主要路線を構成し、1万台弱/12hの交通量があることから、工事中も対面交通を確保することが要求される。加えて、前述3校の通学路でもあることから、バリケードによる歩車分離等、児童・生徒の通行安全性にも配慮が必要であった。そのような制約の中、工事進捗に合わせて適切に保安設備の配置を変更し、事故・苦情なく工事を完成させた。

また、道路附属物設工において、NETIS登録製品を活用することにより施工時における品質を確保するとともに、プレキャスト製品の設置に係る人員の削減にもつながり、生産性の向上が図られた。

以上、「工事等に関し新技術や新工法の活用、省力化等の創意工夫に努め、生産性向上に特に顕著な成果をあげたもの」、「困難な自然的、社会的条件を克服して工事等を完成させ、優れた成果をあげたもの」に該当することから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等



受賞コメント

この度は青森県県土整備部優良工事表彰を賜り、誠にありがとうございます。受賞にあたり、ご指導頂きました監督職員の皆様、ご協力を頂いた地域住民の皆様には、心より感謝申し上げます。

本工事は重点対策として、工事期間を通し重機や工事車両による死角を作らないように配慮するとともに、横断歩道部や各所においても保安設備が児童を隠す死角とならないよう配置を行うなど、通行する人々のそれぞれの目線で全体を考えることにより、安全に工事を進めることができました。

今回の受賞を励みとし、これからも地域に寄り添い、安全且つ高品質な技術とサービスを提供できるよう努めて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
田中 大文主任(監理)技術者
内海 篤樹

令和5年度 青森県県土整備部優良工事表彰

県土整備部長表彰

工事の概要

工事名	国道279号道路改良（南B P）工事		
受注者名	上北建設株式会社		
工事場所	上北郡横浜町字吹越地内	請負金額	311,025,000円
工期	令和4年4月1日～令和5年3月28日	成績評定点	86点
完成年月日	令和5年3月22日	推薦公所	上北地域県民局地域整備部
主任（監理）技術者	才勝 慎也	総括監督員	内海 達也
工事内容	施工延長L=620m 道路土工N=1式 擁壁工N=1式 石・ブロック積（張）工N=1式 排水構造物工N=1式 カルバート工N=1式	主任監督員	壬生 信一
		監督員	嵯峨 幸雄

推薦理由

本工事は、下北地方生活圏の中心都市「むつ市」と東北縦貫自動車道八戸線を結び、下北・南部・青森地方生活圏の地域間連携強化、下北地方の産業等の発展を支援する地域高規格道路（下北半島縦貫道路）の一貫として横浜南バイパス工区における切土と排水構造物の施工を主とする道路改良工事であり、特に評価する取り組みは以下のとおりである。

- ・現場打ち水路函渠工（内空B3700×H2000）についてプレキャスト化を提案し、約2か月の工程短縮を実現
- ・ICTを全面活用した効率的な道路土工の施工・管理により省力化を実現
- ・運行管理アプリを活用したダンプトラック運行の最適化により、掘削→積込→搬出の効率化を実現

以上の取り組みは「工事等に関し新技術や新工法の活用、省力化等の創意工夫に努め、生産性向上に特に顕著な成果をあげたもの」に該当することから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等



【着工前】起点～



【PCボックスカルバート施工状況】



【運行管理アプリ活用状況】



【ICT土工施工状況】



【完成】起点～



【PCボックスカルバート施工完了】



【運行管理アプリモニター確認】



【ICT建機モニター確認状況】

受賞コメント

この度は、県土整備部長表彰を賜り誠にありがとうございます。弊社で行った工事は、事業全体の一部にすぎませんが、早期開通への貢献および将来世代の負担にならないよう高品質な現場を目指し取り組みました。何より、約1年におよぶ長期間の工事でしたが工事関連会社の協力のもと、安全優先を理念に工事を進め無事故・無災害で完成することができました。

今後も、この受賞を励みとして社訓である『誠意・創意・熱意』を念頭に社員一同、より一層精進してまいります。最後に、ご指導いただきました監督職員の皆様、隣接工事関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

代表取締役社長
田島 一史監理技術者
才勝 慎也